

第10回山形県立博物館・同友の会共同企画展

私たちの たかからのもの

郷土ゆかりの品々



平成30年 12月15日(土)～
平成31年 2月24日(日)

※会期中一部展示替えを行います 前期展示:12月15日(土)～1月16日(水)
後期展示:1月17日(木)～2月24日(日)

- ◎開館時間 9時～16時30分(入館は16時まで)
- ◎休館日 月曜日、年末年始(12月28日～1月3日)
※12月24日(振・月)開館、12月25日(火)休館
1月14日(祝・月)開館、1月15日(火)休館
2月11日(祝・月)開館、2月12日(火)休館
- ◎入館料 大人[成年者] / 300円(20名以上の団体 150円)
学生・小人[未成年者] / 150円(20名以上の団体 70円)
※高校生以下無料、障がい者の方と付添の方は無料

出品資料

- 「華岡青洲口述筆記録」写
 - 「職人尽図貼合屏風」(伝 岩佐又兵衛工房作)
 - 「日本湊尽 江戸鉄砲州」(初代広重)
 - 木彫「裸婦像」・「白兔」(新海竹蔵)
 - 木版「寸涼」・「旧制山形高校」(中川木鈴)
 - 小国町湯の花遺跡関係資料
 - 山形県総合運動公園開園記念品レリーフ等
- およそ90点

山形県立博物館・同友の会

〒990-0826

山形県山形市霞城町1-8(霞城公園内)

tel:023-645-1111 fax:023-645-1112

URL <http://www.yamagata-museum.jp/>

左上画像(木版「寸涼」中川木鈴
木彫「白兔」新海竹蔵
ブロンズ「早蕨」佐藤忠雄)

※すべて個人蔵



職人尽図貼合屏風(個人蔵・前期展示になります)

私たちのたからもの

— 郷土ゆかりの品々 —

ごあいさつ

私的に所蔵されている「たからもの」は、密かに個人で愛でられることが多く、外部の人々が目にする機会はほとんどありません。この展示会では、山形県立博物館所蔵の「たからもの」の一部に加え、同友の会会員が個人的に所蔵している「たからもの」を公開展示いたします。通常は公開されない「私たちのたからもの」を間近に見ていただくことをねらいとして開催いたします。

この展示会は、県立博物館と同友の会が共同で行います。資料の選定・展示構成などは、友の会会員が中心となり、博物館職員と共に検討を重ねて決定をいたしました。友の会会員が積極的に関わり実施するこの共同企画展を、一般県民との協働による開かれた博物館づくりの取り組みとしてもご覧ください。



木坂「旧制第五高等学校」(中川木鈴作 個人蔵)



弓野焼 水瓶 (個人蔵)



木彫「裸婦像」(新海竹蔵作 個人蔵)



「アメリカ軍艦」(本館蔵)



本館「白鳥」(佐藤助博作 個人蔵)

関連行事

◎講演会①

12月15日(土) 13時30分～15時 本館講堂

演題「華岡青洲と山形」

講師 高橋拓氏(飯豊町教育委員会社会教育課生涯学習振興室主任)
波部功氏(友の会会員)
大木彬氏(友の会会員)

◎講演会②

2月16日(土) 13時30分～15時 本館講堂

シンポジウム「共同企画展10回の展示を振り返る」パネリスト 友の会会員

◎展示解説会(いずれも13時30分～14時)

- ①12月22日(土)「本展の展示資料解説」
- ②1月19日(土)「真室川が生んだ版画家中川木鈴の世界」
- ③2月2日(土)「小国町の細石器遺跡 湯の花遺跡の発見」

※友の会会員による解説、いずれも会場は本館第3展示室



交通案内

徒歩：JR山形駅西口より約10分
車：山形道山形蔵王ICより5km(約15分)
東北中央道山形中央ICより3km(約10分)